

くりを進める段階で、市民の皆様のご意見を拝聴します。

問 びわ湖源流の郷たかしまが施策の大きな柱になっていますが、総合計画の見直しとの整合性は。

答 「びわこ源流の郷たかしま」は、総合計画の基本理念を具現化し、市民の皆様が一体感をもって頂けるよう、わかりやすい形で提案をしたものであり「環の郷たかしま」の実践的、戦略構想でもあります。

問 高島市の雇用確保のためにも、実施予定のびわ湖源流の郷たかしまによる「活力ある地域地場産業の創生」と共に、企業誘致が必要になるのでは。

答 産業経済部長
企業誘致による雇用拡大に努めます
地元企業を主体とし

た工場拡大の支援と、本市の利用度の低い土地等の活用による新規企業誘致を推進します。

問 国道303号線の約4kmが改修中です。また今夏、舞鶴若狭自動車道小浜インターが開通し、平成26年には敦賀小浜間も開通予定です。周辺も様変わりします。市内用途地域においても町村合併時に比べ随分と変化しています。現状認識の上、企業誘致も含めた総合計画の見直しをしていただきたい。

答 農業振興計画も含めた土地利用の見直しと、グループ会社での企業誘致も含めまして、見直しを進めてまいります。

◆「ゴミ減量大作戦」について

◆「その他の質問」

問 読書離れが進む中、学校図書館は児童生徒の人間形成や情操を養う重要な役割を持っています。

答 読書離れが進む中、学校図書館は児童生徒の人間形成や情操を養う重要な役割を持っています。

① 基準冊数に達していない学校には、早急に増やすべきでは。

② 特に中学生の利用が少なく、県下平均の読書量と比較しても大幅に少ないのでは。

③ 図書運営に携わる図書教諭が配置されているが、多忙なため、その役割が果たせていないのでは。

④ 市立図書館司書を増やし、学校と連携して読書指導や図書運営にあたる体制確立を。

答 主席教育次長
学校図書館は、児童生徒の健全な教養の育成を図ることを目標に、

問 読書離れが進む中、学校図書館は児童生徒の人間形成や情操を養う重要な役割を持っています。

答 読書離れが進む中、学校図書館は児童生徒の人間形成や情操を養う重要な役割を持っています。

蔵書の整備状況を把握しながら、その充実を図っております。また各学校では、司書教諭を中心に計画的かつ組織的に学校図書館経営を行っており、読み聞かせや訪問貸出しなど、公立図書館との連携を深めて、読書活動の推進に努力しています。

問 小学校での英語必須化で、優れた指導助手を確保するための手立てが必要では。

答 外国語指導助手の確保はしっかりとできており、各学校では生き生きと充実した授業が展開されています。



ALTによる充実した授業

担緩和措置を講じています。これらの軽減措置分を公費で負担するよう国に対して要望していきます。保険税滞納者へは、今後納付相談等を通じて適切に対応していきます。

ますが、広域化によって市の裁量が発揮できず、市民の生活実態を反映しない制度になるのではないのでしょうか。

答 健康福祉部長
丁寧な対応を心がけます



「びわ湖里山観光特区」の検証と今後の取組みは

大日 翼 議員



多くの観光客が見込めた高島トレイル

高島市の観光振興の取組みは合併から今まで、滋賀県より経済振興特区として、当市の自然環境と地域資源を活かしたエコツーリズムの推進を柱にした「びわ湖里山観光振興特区」の地域指定を受け、数々の支援を受けながら産業振興に努めてこられました。この特区支援は5年間のものです。今年3月で終了するものです。以下4点について伺います。

問 特区を受けた成果は。

答 産業経済部長
「びわ湖源流の郷たかしま」をキーワードに各種の施策を推進します

区域全体の観光開発をびわ湖高島観光協会が主体的にプロモーションしたことであります。これにより、市内の観光情報の一元化が図られ、平成19年の観光入込客数37.8万人に対し、平成21年には46.0万人となり、21・7%

問 5年間における県からの財政支援額は。

答 5年間における県の助成額は、約6、490万円であり、90万円です。

問 特区計画の目標数値の達成度は。

答 特区計画目標の内、日帰り観光客数は11.1%と大きく目標を上回ることでありますが、宿泊を伴う観光客数は63%となり、今後の着地型観光のあり方等の課題と認識しております。

問 ポスト県版特区として、市単独の支援制度を設ける考えは。

答 この5年間の取組みから、さらに踏み込んだ内容で、滞在型、教育旅行の受入など、

観光客のニーズにあつた旅行商品を企画造成し、積極的に誘客を進めてまいります。

問 高島市の物産振興の取組みについて

問 高島市の経済活性化策において、市内の農産物をいかにして顧客満足度を高め、市内外に発信し販売していくかにあります。

答 当市は地産地消とともに地産外商という視点から、昨年4月市内組織に特産品振興室を設置し、商工観光課を併設し、商工観光課を課に分け、より充実した体制をとられました。そこで関係部署が取り組まれた事業と成果について伺います。

答 今後においては「びわ湖源流の郷たかしま」をキーワードに、攻めの特産品販売と着地型観光の推進を精力的に推進してまいります。

観光客のニーズにあつた旅行商品を企画造成し、積極的に誘客を進めてまいります。

問 高島市の物産振興の取組みについて

問 高島市の経済活性化策において、市内の農産物をいかにして顧客満足度を高め、市内外に発信し販売していくかにあります。

答 当市は地産地消とともに地産外商という視点から、昨年4月市内組織に特産品振興室を設置し、商工観光課を併設し、商工観光課を課に分け、より充実した体制をとられました。そこで関係部署が取り組まれた事業と成果について伺います。

答 今後においては「びわ湖源流の郷たかしま」をキーワードに、攻めの特産品販売と着地型観光の推進を精力的に推進してまいります。

前回に続き、高島市総合計画関連の質問をしました。

問 農業振興地域整備計画・都市計画マスタープランの進捗状況は。

答 政策部長
都市計画マスタープランは、庁内会議で共通認識を図ると共に、現在、国勢調査の統計数値を踏まえて調整をしています。また農業振興整備計画は、現在基礎資料をとりまとめられており、今後素案を作成します。

問 高島市総合計画の見直しと、都市計画マスタープラン

ラン・農業振興地域整備計画との整合性は。

答 総合計画後期基本計画と、それぞれの個別計画との整合性を図ります。

問 市民の声を充分に取入れた総合計画の見直しを。

答 次年度において、具体的な施策の素案づくり

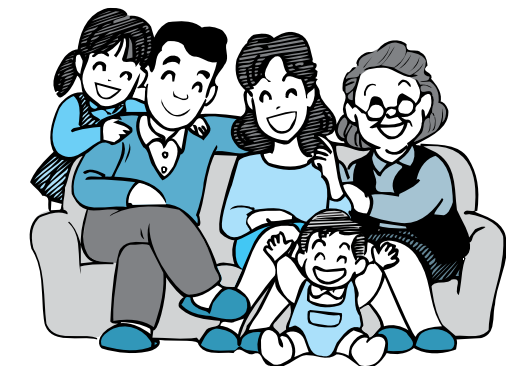
ますが、広域化によって市の裁量が発揮できず、市民の生活実態を反映しない制度になるのではないのでしょうか。

答 健康福祉部長
丁寧な対応を心がけます



高島市総合計画を核とした整合性のある個別計画の策定を

廣本 昌久 議員



ますが、広域化によって市の裁量が発揮できず、市民の生活実態を反映しない制度になるのではないのでしょうか。

答 健康福祉部長
丁寧な対応を心がけます